

令和2年12月24日(木)

【第20回北陸地域連携プラットフォーム】

開会挨拶

座長 中村 信一

開会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

北陸地域連携プラットフォームでは、これまで開催してきた中で「地方創生」をテーマとした議論などを行い、その結果を地域に向けて発信してまいりました。

現在、北陸地域においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業や事業所では営業の自粛や休業を余儀なくされている先がみられるほか、個人においても雇用や所得の落ち込みが生じているなど、地域経済・生活に大きな影響を及ぼしているところです。

一方で、今般のウイルス感染症が都市部を中心に拡大したことから、東京圏などへの人口集中のリスクが改めて浮き彫りになり、地方への移住や就業についての国民の関心が高まっています。

こうした国民の意識・行動の変容は、地方へのひと・しごとの流れを生み出すことにもつながると思います。

このような流れを確かなものとしていくためには、多様なスキル・ノウハウを有し、そして都市圏に所在する人材を、北陸地域において活用することが重要であり、地域経済の活性化につなげていく必要があると考えます。

本プラットフォームにおいては、このような人材の北陸地域における活用について議論を行うとともに、効果的な方策について提言を最終的に取りまとめたいと考えております。

メンバーの皆様方には、本日も、積極的・活発な御発言をお願いしまして、簡単ではありますが、座長挨拶といたします。

以上